

オウム対策住民協議会ニュース

鳥山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

これがオウムの真実だ！

三月十四日、江川紹子氏を司会に迎えた「私たちのこの一年間を語ろう」と題する学習会は鳥山区民センターホールに満員の観衆を集めて行われた。

壇上にはオウムの入居するGSハイムの住人、町会、商店街、PTA関係、計6名の方々がそれぞれの立場から発言をした。

「この一年で変わったこと」

男性A
子どもがいるのですが、教団が来るまでは玄関先で「行ってらっしゃい」で済んでいたのが、子どもがエレベータを降りて外の道路を歩いているのを確認してからでないといとドアを閉めなくなりしました。
「エレベータで何かあっちゃ嫌だな」という親の安心感のためです。

女性B
オウムの女性は化粧をしていないし口紅もつけていないので、私たちはオウムの女性と間違えられないようにするために朝ごみを出しに行くだけでも化粧・口紅だけをつけていかねばならないのです。

買い物にしても、役所の方や地域住民の方も監視にきているので、なるべく何回も



います。

音と臭い

男性C
オウムの人たちは「何号室に誰が住んでいる」と固定していないみたいで、個人個人の修行の仕方があるようでバラバラみたいなのです。

深夜12時過ぎに屋上でドンドンドンドンドンドンと音がするので、何だろうと思って懐中電灯を持って行くと7、8人の信者が、横一列で屋上の半分くらいのところから行ったり来たりして端まで行くと拝むような格好をして、要するに修行している。

「うるさいからやめてくれ」と言ったら「わかりました」ということで、その日はそのまま収まりました。しかし、時間をずらしてやってるようです。

また麻原のビデオは日常的に見ています。
臭いに関しては、道場付近でカレール粉が腐ったような...。ある方が「何だ？」と聞いたところ、漢方薬を作っているそうです。「何のための漢方薬なのか」と聞くと「一口には言えない...」と。

それから、1年位前に異常な悪臭が漂ったことがあります。あまりにひどいので、刑事さんに聞いてもらったら「電動工具を使っているのその摩擦熱による臭いではないか」という回答だったそうです。しかし、彼らは汚物を処理していたのです。密封していた汚物を外に搬出した時の臭いだったのです。

その臭いに対する不快感・恐怖感よりも、「そんなことも本当のことを言ってくれないのか」と教団に対して、我々は不信感を抱き



反省しないで元に戻るオウム

女性D
上祐代表のホームページを印刷したチラシが杉並区の宮前でポストに入れられていたそうです。信者を獲得しようとするものでしょう。

世田谷には配っているのかと教団に聞いたところ「いいえ」と言っていました。同じようなものを名古屋や大阪でも配り始めているようです。

挨拶をしなくなったり、平気で夜中に歩き回ったり、だんだん、テレビで見ている(1995年頃の)オウムに戻っているという感じがします。

男性E
あれだけの事件を起こして赤ん坊まで殺してしまった団体ですから、それが大量にやってきて、「我々と上手くやっていきましょう」「仲良くしましょう」「反省しました」と言っても、我々だって鵜呑みには出来ないです。

江川氏
彼らを見てみると、反省期間には反省担当の人が反省の意を表明して、さっさと次の拡大期間に移って

いく、という感じがします。過去は過去として、教団の方は未来を見ていこうということなので、最近では活発に勧誘活動をやっているようです。

オウムのホームページでは、信者に対して慈善活動を呼びかけています。その内容の一つに、地下鉄サリン事件などの被害者に対する(健康診断の経費などの)基金へお金を提供することがある。彼らは、それを慈善活動と呼ぶんです。こういうところに、彼らの事件に対する認識がにじみ出ているような気がします。

風化させないように

オウムに限ったことではありませんが、大きな問題が起きると、最初は大変だということ、いろいろな違いを乗り越えているいろいろな人が広範囲にワツと駆けつけます。しかし、時間が長引いてその状態が固定していくと、だんだんメディアの関心も薄くなり、周囲の人たちも自分の生活に目が向いて、だんだんと遠のいていきます。そして、その地域の人たちだけが孤独な思いで対応を続けていくことになりがちです。

こういう問題は一地域限定の問題ではないので、少しでも広くいろいろな人たちと意見交換をしたり、思いや考えや経験を共有した方が「いい知恵」も浮かんでくると思います。

ここにお集まりの方がこの問題に本気で取り組んで行かれるのであれば、次の被害が出ないように大きな動きが、この地域から実現するかもしれません。

もしその出発点に今日の日がなれば、本当にいいなと思っ

第5回オウム真理教(現アレフ)学習会アンケート集計報告

[実施日 2002年3月14日(木)] [回収枚数 113枚]

1. 抗議集会・学習会に参加したことがありますか。 (○で囲んでください)
 2. 貴方のお住まいは (○又は記入してください)

(1)初めて	(2)2回目	(3)3回目
20	30	19
(4)4回目	(5)5回目	白紙
15	27	2

(1)北烏山	(2)南烏山	(3)給田	(4)粕谷	(5)上祖師谷
31	37	13	12	4
(6)上北沢	(7)八幡山	(8)その他 8 世田谷区大原、中野区、祖師谷、多摩市、調布市、三鷹、他		
2	7			

3. 現在の公安調査庁による観察処分は平成15年1月末で終わります。そうすると公安調査庁による立ち入り調査がなくなります。また、教団は大手を振って布教などの活動を始めるでしょう。オウム真理教居住地域が無防備な状態にならないためにも、観察処分の延期などに向けた行動を起こさなければならぬと思っています。そのことについてご意見がありましたらお聞かせ下さい。

・日一日と車の出入り、信者の出入りも多くなり、信者はサマナ服で歩き回り、頭には変なものを着けているのを見ます。現状のような状態なのに、今、公安調査庁の方が引いてしまったらオウムは本当に腰をすえてやりたいほうだいな事ややっていくと思います。毎日の生活が不安でなりません。続けて下さる事を切にお願い致します。

・私は、GSハイムのはす向かいに住んでいる者ですが、このように近くにおりながら、来年1月で観察処分の期限が切れることを知りませんでした。この集会に参加させていただいた私ですらこのような状況で、おそらくよほど身近な方々や協議会で活動されているような方々でない限り、このことを知る人は少ないと思います。まずは、住民一般にこの事実を知らせ、危機感を高めることだと思います。その上で、個々が連帯し、上記の運動へ参画するべきだと考えます。

・同じ事が続いてしまうと慣れてしまいます。このことを風化させないよう、地域を子供達を私達の生活を守っていくのは私達大人です。気持ちを新たに、皆で力を合わせて、この問題に取り組んでいかなければならないと、再確認しました。一人でも多くの住民が関心を持つよう、働きかけていくことも大事だと思います。

・上祐が出所し、教団の代表におさまりオウムを仕切っているが、その思想は完全にオウム真理教、麻原彰晃を信奉、思想を引き継いでいる。従って、中身は、あくまで犯罪集団であるのに観察処分は是非続行してもらいたい。世田谷の住民はもちろんのこと全国民の悲願である。

・是非とも観察処分は続けなくてはならないと思う。今回も集会があるという宣伝カーというのが走っていましたが、こういうことも何回となく流してゆくべきだし、回覧板でひとり1枚ずつ配るように、折り込みもいい。今おとなしいだけで本当に地下での活動がとても心配だと思う。烏山イコールオウムというイメージはとても怖い。殺人集団だというイメージをしっかりと皆の胸にきざみつける位のファイトがないとだめだと思う。

・観察処分期間中は彼等は馬鹿ではないので当局に目をつけられる行為を取るはずもなく、特に本部化した世田谷においてはなおさらである。先の見えないサリン事件裁判の推移を見るにつけ麻原のしたたかさに恐怖を感じる。目に見える不安のみならず、精神的な不安をも併せて当局に訴えていく必要がある。

・安全性が確認されるまで当局による監視は続けていくべき。アメリカのテロをはじめ、現代社会は危険が一杯。

・宗教の自由はあるにしても、大量の殺人を犯した団体であり、解散が必要であり、この方向で全国的組織で行動し国を動かすべし。

・管理組合の中で区分所有法、新しい法律のマンション管理適正化法での対応を法的にも考えてみて下さい。

・昨年、6月に判決の出た、オウムによる観察処分違憲訴訟では、東京地裁にて「合憲」という判決は出たものの、判決の中で裁判長は、必ずしも100%公安審査会の言い分を認めた訳ではない。集団は、今でも危険な団体としての要素充分に持っており、この実情をこの地域から発信して、観察処分の延期はもちろん、この法律の強化を望むものであり、国を動かす原動力として行かなければならないと思います。

※多数のアンケートを寄せていただきありがとうございました。ご意見、ご要望など今後も私たち協議会の活動の参考にさせていただきます。またご意見のなかから対応出来るものは協議会ニュースの紙面を通じて答えて行きたいと思えます。

※3月14日学習会のまとめをご希望の方はご連絡下さい。

住民協議会活動報告

- 3月4日(月) 広報部会
 - ・第14号校正と第15号の打合せ
- 3月9日(土) 企画部会
 - ・学習会の最終打合せと確認
- 3月14日(木) 第5回学習会
 - コーディネーター 江川紹子氏
- 3月25日(月) 実行委員会
 - ・3月14日学習会の反省と今後の活動について

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>